

ただ もり 下田の杜だより

2021年7月18日号



NPO 法人
下田の杜里山フォーラム
発行責任者
貝山秀明
事務局 広報部編集

下田の杜の自然は四季折々の良さがあり、特に目にも鮮やかな新緑が森全体を覆う 4,5 月頃は自然の息吹き(生命力)に圧倒されます！
地域の人々が散策に訪れ、学校からたくさんの児童や学生が自然観察会や里山講座、そして田植えの学習に来て、下田の春～初夏を満喫しました。

↓ '21.5.7 西小5年 田植え



水を入れ出した田んぼを泳ぐアオダイショウ



'21.4.26 酒井根小3年 春の観察会

しかし心配なことに COVID-19(新型コロナウイルス)の新たな変異株による感染拡大に世界中が危機感を募らせています。東京では4度目の「緊急事態宣言」(7/12~8/22)が出されました。一方では梅雨末期の豪雨が各地に甚大な洪水や土石流による災害をもたらしました。

こうした“コロナ危機と気候変動”は、実は地球環境への人間による自然破壊が大きく影響していると、6月8日に発表された政府の2021年版環境白書(環境・循環型社会・生物多様性白書)が指摘しています。この白書では、1960年以降の新たな感染症の30%以上が野生動物の生息地に人が住むようになったことが発生原因であると報告しています。自分たちの問題として真剣に考え直すことを私たちに突き付けています。



このマークを知っていますか？ 2015年に国連のサミットで決めたSDGs(私たちの世界を変革する、持続可能な開発のための目標)は

17の目標(ゴール)を上げ、世界中の人々が文化や考え方の違いを越えて他者を思いやり、協力して取組みましょう！と呼びかけています。「地球は宇宙から見ると水と空気と多様な生命に恵まれ、ひととき美しい星ですが、思ったよりずっと‘狭い’星なんですよ」と女性飛行士の向井さんの言葉・・・現在、このままでは未来の地球は立ち行かないほどの危機に瀕しています！

子どもたちが将来、自分たちの力で考え、未来を切り開いていけるように、私たちは下田の杜を地域の里山自然博物館と考え、保全や教育活動(ESD=持続可能な社会のための環境教育)にも関わっています。地域や市民の皆さまと共に、世界や身近な環境問題を考え、協力し合い、子どもたちに伝えることから取組みを始めましょう。

〔 NPO 下田の杜里山フォーラム 一同 〕

子どもたちや若者たちへの充実した教育支援 2021年4月～6月

- 4/21(火)春の観察会 酒井根西小 4年児童 33名+T3名
- ◆4/25(日)東邦大里山講座① (理科教師になる学生19名+AT4名の實習)
- 4/26(月) 野外学習 酒井根小 3年児童 97名 + T4名 S13名

空は青く、風まさに薫風、絶好の自然観察日和 (タブレット操作もOK!だね)

- 5/6(木)田植え 酒小 5年 101名+T5名 ●5/7(金)田植え 西小 5年 47名+T3名

▼5/8(土) 麗澤中学 2年の田植え 生徒 28名 +T2名

▼5/28(金) 酒井根中学 1年
環境出前リモート講座 229名

◆5/23(日)東邦大里山講座②

6/20(日) 里山講座③

外来植物除去作業⇒



トキワツユクサ刈込除去完了!



里山の活動：作業いろいろ



'21.5.9 堆肥作り



'21.5.30 梅もぎ

綿繰り機で
綿から種取り



わ～、たいへん!
でもみんな
やると楽しいよ!

'21.6.6 観察池の整備

さつま芋の苗植え



'21.6.13 麦刈り

綿花の苗植え



'21.6.20 梅林下草刈り



'21.6.20 東邦大の学生たちが
昔の農具を使って麦の脱穀実習



'21.6.26 ジャガイモ掘り

親子で
ワクワク

